

まなこ

manako.

特集 身近なことから始めよう

悩めるあなたへの処方箋 男性だって生き辛い!

* 関口久志さんと考える 男性お悩み相談室

* この人に会いたい!
千葉大学教授 佐藤和夫さん

78
2010 Spring

まなこ
manako.

2010 78

ともに・こころ・つたえあう～男女共同参画fromむさしの『まなこ』第78号
企画・発行：武蔵野市企画政策室 市民協働推進課 男女共同参画担当 2010年3月31日発行 〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28 TEL: 0422-60-1869(ダイヤル・イン)

「まなこ」は文字通り「眼」。人やまちや文化や地球を、男女共同参画の視点＝「まなこ」で見たいこう！という思いで名付けられました。1991年創刊以来、市民が企画・編集にかかわっています。

BOOKS

むさしのヒューマン・ネットワークセンターの蔵書から



男おひとりさま道

上野千鶴子 著
法研

女性だけではなく、男性も老後をひとりで送る可能性がある。連れ合いに先立たれたり、子どもがいなかったり(あてにならなかったり)、もともとシングルの人もいる。本書は、男性がひとりで老後を生きるのに必要な心構えとスキルを説いて、豊かに老いる道を指し示す。著者によると、生活自立できていることと異性の友人をたくさん持つことが秘訣だとか。男性だけでなく、女性にもぜひ読んでほしい1冊。



女性学/男性学 (ヒューマンティーズ)

千田有紀 著
岩波書店

人間の性別は(男/女)の2つだけ、と思いがちだが、はたして本当にそうなのか? 著者は(男/女)というツーセックスモデル型の性認識を問い直し、多様な性のあり方について論じている。また日本の女性学30年の歩みを振り返り、女性学の理論についても簡潔に解説している。難解な内容も、やさしい言葉で書かれているので理解しやすい。著者は武蔵野市男女共同参画推進市民会議の副委員長でもある。

武蔵野市境 2-10-27 武蔵野市政センター 2階
TEL・FAX 0422 (37) 3410
E-mail mhnc@tokyo.email.ne.jp
URL http://www.mhnc.jp/

男女共同参画社会とは?

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会(男女共同参画社会基本法第二条より)

* STAFF *

レポーター: 開地京子 小泉真木子 清水順子
野坂謙二 三上かおり 吉羽真理子
渡邊絵里
取材・編集: 作部径子(編集長) 遠藤梨栄 菅野理恵子
清原理恵 林 直子 守谷洋子
編集協力: 栗原 毅
イラスト: きたもりちか
デザイン: 上田ジュンコ
印刷: 巧芸印刷株式会社

『まなこ』は市役所、市政センター、図書館、コミュニティセンター、市内の医療機関、美美容院、大型店舗、金融機関、おふろやさんなどに置いてあります。バックナンバーをご希望の方は、市民協働推進課男女共同参画担当まで。

平成21年度『まなこ』第4回レポーター会議

77号 「チャレンジャー! 自分で自分の仕事をつくる」
新しい働き方、見つけてみませんか?」を読んで

■ 仕事をしたくないなら、行動に移してみる
ことが大切だと感じた。(30代女性)

■ 多種多様な仕事の取り組み方が取
材されていて、良かった。(50代女性)

■ 成功する/しないは別としても、起
業はやる気があればできるのだと思
った。(40代女性)

■ 障害を持った人を雇用する試みは、
とても興味深かった。(70代男性)

■ ワーカーズ・コレクティブ(協同労
働)の持続可能なシステムづくりが
大切だ。そうすれば、女性の手で小
さな組織を動かすことができると思
う。(50代女性)

78号 「悩めるあなたへの処方箋
男性だって生き辛い!」にむけて

■ 夫に対して「男のくせに」という言葉は言わ
ないようにしている。私も「女のくせに」と
言われたくないから。(30代女性)

■ 自分にとっては男や父親という枠よりも、
戦争によって変化した社会の枠の方が、影
響が強かった。男というより人間として考
えたい。(70代男性)

■ 夫は仕事以外の世界にも目を向けているが、
年齢とともに仕事の責任も重くなり、楽では
ないようだ。仕事と生活の切り替えが上手に
できると良いなと思っている。(40代女性)

■ 男女の関係を变えるには、お互いの意識を変
えていかなくてはいけないと思う。(40代女性)

■ 男性が気づいていない特権意識を、鋭く説
明してくれるような人物の取材をお願いし
たい。(50代女性)



1月14日(木) 10:00~12:00 市役所605会議室

Editors' Notes 編集 * 後記

物事は捉え方、考え次第。要はその人次第
ということ。生きつらさは社会だけでなく
本当は自分にもあるのかも... (遠藤梨栄)

原稿を書きながら、文章で表現する難しさ
と楽しさを再認識。うまく伝わるというので
すが... (菅野理恵子)

編集にかかわって1年余り、いろんな生き方
の可能性、視点を学ぶきっかけをいただきま
した。感謝です。(清原理恵)

関西弁でゆったりとお話しになる関口さん。
しかしその内容は、日本の社会構造を鋭く分
析するものでした。(林 直子)

この2年間、いろいろなことを覚えました。
たくさんのお会いもありました。全てのこと
に感謝! (守谷洋子)

寝ても覚めても『まなこ』のことを考えた
2年間。出会いと学びがいっぱいでした。次の
ステップに向けて踏み出します。(作部径子)

◎22年度も『まなこ』を引き続き
ご愛読ください。

身近なことから始めよう!

「男女平等は当たり前」と考えていても無意識に「男は・・・」「女は・・・」と思っていることもあるのでは? 自分の思い込みに気づくことから始まります。

悩めるあなたへの処方箋 男性だって生き辛い!

世界経済フォーラムが発表したジェンダー格差指数では調査対象134カ国中第75位と、日本はまだまだ「男社会」。
そのために女性だけでなく、男性が生き辛さを感じることもあります。
「男らしさ」から「自分らしさ」へ視点を変えてみませんか。
*Gender Gap Index
平成21年10月世界経済フォーラム発表



これからの人生をパートナーとどう築いていくのか

戦後の高度経済成長を企業戦士として働いてきた団塊世代の男性たちは、会社が居場所になつていったといえます。男性は仕事以外を免除された形で「会社人間」になれたという構造があります。男性を24時間働かせ、家族のために「家族賃金」を稼ぐ、そして専業主婦である女性が家事・育児を全面的に担うことで、そのような生活は成り立ってきました。しかしそのようなシステムも定年と共に終わってしまうので、この方のように定年後は家に居ても何もする



ことが無い、というような状態になつてしまふですね。

男性は家庭なり地域に、自分の居場所を作らなくてはいけないということですが、きっかけづくりに困った時は、パートナーに協力を求めたらどうでしょうか。新たな人間

業績が上がらず、会社の同期に遅れをとり始めています。男として自信もなくなりそうです。(会社員37歳)

関係を広げることを目的に、趣味や生きがいのための仕事を作つていきましょう。その時に捨てたいものは会社時代の意識です。また生活(家事・炊事)の自立をする力をつけておくことも大変重要です。定年になつてから悩まないように、定年の10~20年くらい前になつたら、助走を始めてほしいと思つています。一般的な家庭で言うならば、遅くとも子どもが思春期を迎えるころに

なつたら、もう一度男と女という関係に戻つて、これからの人生をパートナーとどう築いていくのか、話し合つてほしい。
2人の人生のエンディングにむけて、良い関係を一緒に築いていかななくてはなりません。その体験によって、死の間際でも一方は先に死んでいく勇氣や決意を、もう一方は見送る決意を、改めて得るのではないのでしょうか。



この男性のお悩みについて考える時、今、問われているのは、「男として

男として自信をなくしているとお気の毒です。そもそも男性社会は「競争中心主義」といえます。トップに立てる男性以外はすべてが落伍者になってしまう。近年は終身雇用制がくずれ成果主義賃金制が導入され、いつリストラされるかわからない、さらに厳しい状況になっています。

「男としての競争」を続ける? それとも「人としての豊かさ」を取り戻す?

「男としての競争」を続けていくのか、それとも競争を降りてでも「人としての豊かさ」を取り戻していかのかということ。東京の会社員の帰宅時間は一番多い時間帯が10時台。これでは家庭でゆったり過ごす時間は無い。日本の夫婦の3分の1はセックスレス、という事実をご存知ですか。夫婦の話も無い中で、男性中心のセックスを強引にすると女性は嫌がります。仕事中心の生活の貧しさが性的な貧しさとして現れている。そしてその夫婦関係の貧しさが、熟年離婚、という結果になるのです。社会としても「人としての豊かさ」を保障していくのかどうか、問われています。

また、働きざかりの中高年齢男性の自殺が多いことを考えると、家族賃金を男性のみに頼ってきた生活、価値観、社会の変革も必要と思つています。「外で稼いでいれば、家で何もしなくていい」という男性の考え方も変えなければなりません。「良き社会人は良き家庭人」と考えてください。

関口久志さんと考える

まなこ 男性お悩み相談室



せきくち ひさし 横浜国立大学・千葉大学・都留文科大学ほかの講師(ジェンダー論、セクシュアリティ論、男性問題)。
*人間と性、教育研究協議会幹事。季刊「セクシュアリティ」誌編集委員。'09年むさしのヒューマン・ネットワークセンター男女共同参画実践講座講師。著書多数。

男だから・・・
男らしく・・・
男のくせに・・・
悩んでいても、
誰にも相談できずに、
一人で抱え込んで
いませんか?
男性問題に「くわしい
関口久志さんが、
男性の悩みにお答えします!

でも彼女も欲しいし、結婚もしたい。どうすればいいか悩んでいます。(派遣社員24歳)

の自尊心、女性に対する信頼などをなくしてしまふ。

モテないと嘆く前に
人間的な出会いの場を
求めては
実はこういった若い男性がとつても増えて
います。見落としていけないのが、「草食
系男子」の中に、女性に対して、恋愛をあ
きらめた人が入っているということ。男性は
性的な存在から排除されると、社会に
対する信頼や自分への自信、良い意味で

今はやりの「婚活」に振りまわされてはい
けません。「婚活」は貧困産業の側面がある
のです。今は景気低迷から将来展望が描けな
らなく、結婚で将来を築こうとする女性が増え
てきているのでしょうか。貧困から抜け出すた
めの「婚活」なので、対象者は収入や地位、
容姿などの条件で決まります。特に日本の場
合、非正規雇用の賃金が扶養控除内で働く女
性のパート労働賃金に基づいており、結果的
に男性の非正規雇用の低賃金にもつながつ
ています。経済的な貧困が人間関係の貧困に
もつながり、非婚者が増えることで、少子化
に影響を与えています。
ですから、あなたもルックスや収入がい
まいちで「モテない」と嘆く前に、もっと
人間的な出会いの場を求めていった方が、
僕はいいと思います。例えば趣味やボラン



ティアなど、男女が共に集う、
自分の居場所になるつきあいの場ですね。
そこで自分の人間性なんかを磨いていく。
あまり身構えることはありません。肩ひじ
を張らず、人間としてつきあえる場を作つ
た方がいい出会いができます。恋愛や結婚
にとらわれなくて、友人として人間的なつ
きあいをしてください。あなたに自信が戻
れば、男女を問わずあなたの良さを分かっ
てくれる人が、きっと現れるはず。



性の「幸せ」ガイド
~若者たちのリアルストーリー~
エイデル研究所
若者の性において幸せな関係を築くための知識を説く。中高生に読んでもらいたい。

「性」構成・取材 遠藤梨菜・清原理恵・林直子

男性のための悩み相談先

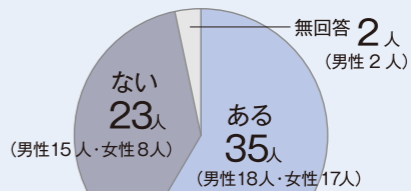
- ★東京ウィメンズプラザ: 男性のための悩み相談
夫婦・子どもの問題、職場や地域の人間関係、セクハラやDVなどの暴力の問題など、男性の抱えるさまざまな悩み
に男性相談専門の相談員が対応。
TEL: 03-3400-5313
(祝日・年末年始を除く月・水曜日 17~20時)
- ★ライフリンクDB: 生きる支援の総合検索サイト
自殺対策支援センター「ライフリンク」が運営する検索サイト。
「IT」。過労や借金、生活苦、メンタルヘルスなど、さまざま
な社会問題への支援策や相談窓口が、簡単に検索できる。
http://lifelink-db.org/
- ★市民こころの健康相談室
TEL: 0422-55-6003
来所相談: 毎週水曜日 13~15時(予約制)
電話相談: 毎週水曜日 10~12時 13~15時
第2・4水曜日は17~20時(可)
第2・4土曜日 10~12時 13~15時
ただし祝日・年末年始は除く

悩めるあなたへの処方箋
男性だって生き辛い!

少し視点を変えて みませんか?

『まなこ』読者60人に聞きました!
(女性 25人 男性 35人)
レポーターを中心に読者の方にお聞きしています。

Q 今の世の中で、
男であることで損をすること、
生き辛いことがありますか?



〈ある〉
 ・「男だろ」というプレッシャーで無理せねばならない時。(男性・40代)
 ・テカゲンサレナイ。(男性・不明)
 ・人前で泣きにくい。「男だから」「男のくせに」と言われてしまう。(女性・30代)
 ・男性社会なので自分の負担と責任を伴う。(男性・40代)
 ・家族の収入の大部分を背負わなければならない。嫌な仕事でも我慢して働かなければならない。(女性・40代)
 ・地下鉄に優先車両がない。(男性・50代)
 ・男性専用車両がない。(女性・30代、男性・60代)
 ・「女性専用」「女性割引」などと、社会的、肉体的弱者の立場を振りかざして逆に男性差別をしている。(男性・30代)
 ・「男」の役割はかつて期待されたものではないのに、かといって今、男性がどうあればいいのか確固たるイメージが誰の中にもたふんない。(女性・50代)

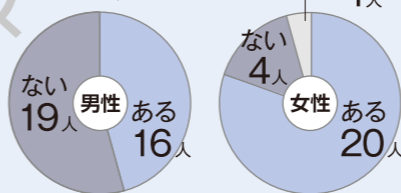
〈ない〉
 有無を言うことがおかしい。男であることは変えられないから前向きに立ち向かうしかない。(男性・50代)

Q あなたにとって
イイ男とは誰ですか?

父	4人
夫・ダンナ・同居人	3人
イチロー	3人
木村拓哉	2人
竹之内豊	2人

その他さまざまな男性があがりましたが、「特になし」「思い浮かばない」という意見が15人ともっとも多かったです。
 〈父親〉新しいことに挑戦して、60歳を過ぎてからバレエを始めた。(男性・60代)
 〈同居人〉何でも自分ができる。無人島でも快適に生きていけそう。(女性・30代)
 〈近所のおじさん〉いつもニコニコ面見が良く、自分から前に出ようとしな。 (男性・50代)
 〈父親〉なんと言っても僕みたいな男のルーツだから。(男性・40代)
 〈男らしい男、たくましい男〉草食系でない男、男としての存在感を感じさせる男。(男性・50代)

Q 最近、弱音を吐いたことがありますか?



あると答えた方、誰に弱音を吐きましたか? (複数回答あり)
 家族・・・17人 友人・・・16人
 パートナー・・・9人 カウンセラー・・・2人 後輩・・・1人
 ※この他にもいろいろなお意見をいただきました。

会社を離陸した「お父さん」号は、地域へ着陸! お父さんお帰りなさいパーティー

昨年6月に10周年を迎えた「お父さんお帰りなさいパーティー」。今ではすっかり「おとぼ」の通称が浸透している。活動について、実行委員の佐藤博信さんに伺った。

「お父さんお帰りなさいパーティー」は、毎年6月に開催される。定年前後の男性に、地域での居場所作りのきっかけになる活動をしている。他の自治体からの見学も多く、全国のモデルケースになっている。5年前から始まった月一回開催の「おとぼサロン」は、スポーツ、座学、料理等、広範囲の活動に及んでいる。

運営についての工夫を伺うと、「一方通行ではなく、参加者とのやり取りを大切にしています」。男性は地域に友だちや知り合いが少ないこともあって、一人で参加する人が多いそう。新しい参加者が話しやすい雰囲気や雰囲気作り、常に気をつけているという。

また「おとぼ」参加対象の男性は、地域の情報に疎く、広報活動にも工夫がいる。佐藤さんは「口コミは重要。ご家庭でこ



▲佐藤博信さん (69歳・吉祥寺北町)

▼昨年第10回のパーティーは34団体が紹介され、関係者も含め参加者総数136名



なイベントがあると話し合ってみてほしい。夫婦での参加者も増えています」と話してくれた。

今後の目標は、もっと参加者を増やしていくことだ。特に、「おとぼサロン」は毎月開催なので、気軽に参加できる。これから定年を迎え始めた団塊世代(市内男女約8千人)が次々に地域に戻ってくる。「おとぼ」を足がかりにどんどん地域に出てほしい。

*昭和22年から26年生まれ

【取材・文 守谷洋子】

●社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会ホラ
 ティアセンター 武蔵野
 お父さんお帰りなさいパーティー実行委員会
<http://www.shakyou.or.jp/>
 TEL: 26-1-70



「多摩セカンドライフ大満足事典」
 多摩エリアでセカンドライフを楽しむための情報やヒントを掲載。
 【問い合わせ】
 週刊さちじょう TEL: 48-7741

高橋流 地域の楽しみ方

高橋正裕さん (47歳・吉祥寺南町)

日本文化をたしなみ、地域活動にも積極的な高橋正裕さん。高橋さん、世界を広げ、地域で楽しむ秘訣は?

高橋さんが和太鼓を始めたのは15年以上前のこと。吉祥寺秋祭りへの参加がきっかけだ。ハモニカ横丁の行きつけの飲み屋で募集していた神輿の担ぎ手に、「おもしろそう!」と手を挙げた。気軽な気持ちで参加したお祭りや神輿担ぎだが、祭りや日本文化の魅力にすっかりはまる。「せっかくだから和太鼓も...」と、飲み屋のマスターに紹介してもらい、「江戸太鼓吉祥寺同好会」で師匠と出会った。吉祥寺秋祭りの他、「武蔵野市芸術文化協会」主催の春の自主



日本文化にこだわらずクラシックやボサノバも好きだという。

お父さんは PTAの副会長

竹内純さん (桜堤)

仕事のかたわら、PTAなどの活動に取り組む竹内純さん。家庭でも男女共同参画を実践する竹内さんに話を聞いた。

中2・小6・小4の子3人の子どもを持つ竹内さんは、上の子の保育園入園以来ずっとと父母会など子育て関連の活動に関わってきた。現在は小学校のPTAの副会長を務めている。営業職で比較的融通のきく勤務時間と、子育てに理解ある職場に助けられ、仕事との折り合いをつけている。

PTA活動は母親が主体になって運営する学校が多く、竹内さんも役員の中で唯一の男性。長男の保育園時代から培ったコミュニケーション力での母さん役員と協調しながらも、お父さんパワーを発揮している。

結婚した時からずっと共働き。「夫は仕事、妻は家庭」とは考えたことがないと話す。竹内さん自身、働く母親に育てられ、女性が働くことは当たり前だと思ってきた。出産前後の休業確保や保育園に入園できないなどいろいろ大変なこともあったが、目の前の問題を一つひとつクリアしてきたら、夫婦2人で働きながら子育てをやったこれだという。共働きでも家事は女性の役割という家庭が多いなか、可能なかぎり平等に家事をこなしている。そんな竹内さんにとって子育て関連の活動に関わるのは特別なことではなく、「男



いくつもの顔を持つサラリーマン高橋さんは、9歳と6歳の子の父親でもある。

公演や秋の文化祭公演を目標に月2回の稽古に励んでいる。その後始めた日本舞踊は同好会の知人から紹介された。お稽古場が本町コミセンだったこともあり、さらにコミセンの運営委員にもなった。ちょっとしたきっかけが自然な流れで形になっている。会社以外の世界が広がり、居心地良い居場所がいくつもある。

高橋さんにはもう一つ「武蔵野市交通安全協会(以下、安協)」の役員としての顔がある。毎年春と秋の交通安全週間、「安協」の制服を着て、横断歩道に立つ。会社の余裕のある曜日を選ぶなど工夫し、できる範囲で手伝っている。「最初は場違いじゃないかとも思った」というが、今では春のサンバパレードや月窓寺の花まつり、商店街のイベント時の警備など頼りにされ、市民の安全を見守る大切な仕事だとやりがいを感じている。

「きっかけは何でもいい。関心を持ってまず足を運ぶこと、そして無理なく続けることが大切」と、自然体で気負いや義務感を感じられない。「飲み会目的とか、楽しいが理由でもないんじゃない?」「人生を楽しむ達人はそう言って微笑んだ。

【取材・文 遠藤梨栄】



保育園・学童つながりのお父さんたちは親しい付き合いがある。取材後「これから洗濯物を干さなければ」と大急ぎで帰って行った。

も女も一緒に子育て」の延長線上にある自然なことなのだ。

「男性の意識を変えるのは難しい。まず女性が変わらなければ世の中が変わらない」「子どもを育てる時に、女性も男性も、仕事をして、家事をして、子育てするところを見せたいかなければ」と竹内さん。仕事ばかりで家のことをしない世の男性たちには「まず自分のことは自分ですることから始めよう」と助言してくれた。

【取材・文 作部佳子】

お父さんの 交流の場を作ろう

武蔵野市内にはお父さんの交流の場を設けている公立小中学校がある。小学校では、井之頭小、第一小、桜野小、関前南小(現在休業中)が「おやじの会」、千川小が「千川おやじーズ」、第五小が「おやじクラブ」。中学校では第二中が「おやじの会」、第四中が「父親懇談会」、第五中がソフトボール「おやじの会」として活動している。

お父さん同士の交流だけでなく、地域のイベントや盆踊り、どんど焼きの手伝い、運動会の準備・後片付けなど地域の活動への参加を促す役割も果たしている。

◆平成22年度男女共同参画推進団体の登録・更新について

女性の社会進出の支援など、男女共同参画の推進を目指す活動をしている団体を「男女共同参画推進団体」として登録しています。

対象は、男女共同参画社会の実現に向けた活動を主たる目的として継続的かつ計画的に活動する団体で、登録の要件としては、①営利を目的とした活動又は営利活動を援助する行為、特定の政党、宗教又は教団を支援する行為を行わない団体であること、②団体の構成人員が5人以上で、原則として構成員の3分の2以上が武蔵野市内に在住していること、③団体の主たる活動の場が武蔵野市内であること、④団体の組織及び活動のための規約を有すること、などがあります。

登録団体は、男女共同参画社会実現のための研究会や講演会の開催などの活動補助金の交付申請、むさしのヒューマン・ネットワークセンターの印刷機使用料の半額免除やロッカーの年間使用などができます。

現在登録中の団体で、平成22年度の登録更新、または登録取消を希望される場合は、市から送付している申請書を4月30日(金)までに提出してください。期日までに登録申請を行なった団体は、団体名簿に掲載し、一般に公開します。

なお、新規登録は、随時受け付けています。

◆育児・介護休業法の改正について

少子化の流れを変え、男女ともに子育てや介護をしながら働き続けることができる社会を目指して、育児・介護休業法*が改正されました。

(*育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律。平成21年7月1日公布、一部を除き平成22年6月30日から施行)

1. 子育て期間中の働き方の見直し

【短時間勤務制度の義務化】

3歳までの子を養育する労働者について、短時間勤務制度(1日6時間)を設けることが事業主の義務となります。

【所定外労働の免除の義務化】

3歳までの子を養育する労働者は、請求をすれば所定外労働(残業)が免除されます。

【子の看護休暇の拡充】

看護休暇の取得可能日数が、小学校就学前の子が1人であれば年5日(現行どおり)、2人以上であれば年10日になります。

2. 父親も子育てができる働き方の実現

【父母ともに育児休業を取得する場合の休業可能期間の延長】

「パパ・ママ育休プラス」父母ともに育児休業を取得する場合、1歳2ヶ月までの間に父母がそれぞれ1年間の育児休業を取得できます(母の場合、産後休業期間も含む)。

【出産後8週間以内の父親の育児休業取得の促進】

妻の出産後8週間以内に夫が育児休業を取得した場合、再度育児休業を取得できます。

【労使協定による専業主婦(夫)除外規定の廃止】

専業主婦(夫)家庭の夫(妻)を含め、すべての労働者が育児休業を取得できます。

3. 仕事と介護の両立支援

【介護のための短期の休暇制度の創設】

労働者の申し出により、要介護状態の対象家族が1人であれば年5日、2人以上であれば年10日、介護休暇が取得できます。

4. 実効性の確保

【紛争解決の援助及び調停の仕組み等の創設】

育児休業の取得等に伴う労使間の紛争等について、都道府県労働局長による紛争解決の援助及び調停委員による調停制度を設けます。

【公表制度及び過料の創設】

法違反に対する勧告に従わない企業名の公表制度や、虚偽の報告等をした企業に対する過料の制度を設けます。

※詳細は厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2009/07/tp0701-1.html>

企画政策室 市民協働推進課 男女共同参画担当
TEL: 0422(60)1869 FAX: 0422(51)9540
URL: <http://www.city.musashino.lg.jp>



『男と女の友人主義宣言
—恋愛・家族至上主義を超えて—』
佐藤和夫著 はるか書房

海外の友人を見ていて感じるのは、日本とヨーロッパでの結婚生活の違いです。ヨーロッパの人は、年中気軽に友人宅を訪ね、話をしたり、食事をしたりしている。パートナーになるといことは、自分の仲間のネットワークに相手を紹介し、親しく友達づきあいをすることなのです。夫婦関係といっても、2人だけの関係にとどまらない形になっているのです。

煮詰まってしまうと、本当は合わないのが一番いい。しばらく会わなければ新鮮な気持ちで会えるのに、今日もまた会わなければならぬと思うと、ストレスになりますよね。「好き」という気持ちだけで長い結婚生活に入ると、次第に無理が生じてきます。そういう場合は、夫婦だけではなく3、4人で行動すると、会話が弾み、気まずい思いも少なくなります。

恋愛も真つ只中で、恋の病にかかっている時は別ですが、その期間が過ぎると2人の関係は意外とすぐに煮詰まってくる。話していて意見が違ったら、片方が黙ってしまう。そして欲求不満がたまってくるのです。

夫婦が2人で向き合うことの辛さ

この人に会いたい!

千葉大学教育学部教授佐藤和夫さんに聞く

「夫婦でたくさんさんの友人を持てば、人生は変わります」

結婚して何年も経つと、「会話が弾まない」「2人だけでは気まずい」と思うことはありませんか? そうはならない、楽しい夫婦関係を続ける秘訣を、千葉大学教授佐藤和夫さんに聞きました。

日本の家族が閉じてしまったわけ

それに比べ日本人は、そんなことをすると疲れてしまうから、めったに友人を家に招いたりしない。結婚すると、家族で閉じてこもってしまいます。

それには理由があるのです。高度成長時代、都市に仕事が集まり、たくさん働き手が殺到した。地方での共同体の束縛や規制から自由になり、他の誰にも制約されずに2人で生きていきたい、という思いがあった。夫婦は閉じていってしまった。つまり、都市での核家族が増えていったのです。この思いがここ50年間の日本を作ってきたと言ってもいいでしょう。

しかしそのせいで、子育ても介護も女の一人が背負うという構造になってしまった。しがらみから抜け出すために夫婦2人で始めたものの、その結果女の人数がすくなく辛くなってしまったのです。

新しい家庭生活を始めよう

家族が閉じていたら煮詰まってしまうから、だから、家族と友達づきあいが両



「スペインの友人を訪ねると、彼女の20人ぐらゐの男女の友人に会いに行くことなんです」と、にこやかに語る。

立するような形を、日本社会に作っていかなくてはならない。例えば妻が、自分の友達やできればそのパートナーも夫に紹介して、夫婦同士でつきあう、というのは、家庭生活をするうえで最初の出発点ではないかと思えます。日本人は異性の友人を作るのが下手です。から、カッパル同士でご飯を食べたり、遊びに行ったりするのは、そうすることです。仕事だけではない生活がやっと始まります。子どもを介したつきあいはたくさんあるでしょうが、子どもの関係が消えたら、親同士のつきあひもそこで終わってしま

性的な関係は抜きのほうが楽しい

このような関係は、別の恋愛関係が始まる危険をはらんでいないとは言えませんが、お互い夫婦でつきあっているならば双方で配慮が働き、抑制する面は大きいと思います。

人間だから欲望もあるけれど、セクシュアルな関係にならないほうがいい。なぜなら男女はセックスを伴う関係になると、それに関しては穏やかではいられないからです。そのことはきちんと話し合い、お互いに線引きをしましょう。そうすれば友人関係が長続きして、結果としてはそのほうが楽しいのです。

内緒の関係ではなく、夫婦で認め合う友人をたくさん持ち、いつもつきあうような関係にしていけば、人生は面白くなるのです。[取材文 菅野理恵子]



「まな」レポーターの200字コラム

男性の生き辛さについてあなたはどう思いますか?

〇〇一直線



三上かおり ●西久保
なんで男の子には、複雑な生き方を教えないんだろう? 遊びに、勉強に、スポーツに、仕事に、一直線の邁進が美德だ。好調の時は自分と異なる者への共感が足りないし、蹉跌を来したらたちまち張りて失う。歯がゆい。「女は男のように思考して励め」と要求されている世の中だけ、いや、男は女のようにいろんな状態を身にまとい、横にも下にも世界は広がっているし、自分の中にも宇宙があることを感じてほしいな、と思うんだけど。

息をついている時間を持つ



小泉真木子 ●境
ある晩息苦しくて目が覚めた。混乱しつつも考えをめぐらせると、最近、目の前のやるべき事しか頭になかったことにふと気づく。その途端、すぐに呼吸も和らいだのが不思議だった。意外とやわらかな自分に苦笑いしつつも、最大の趣味であるピアノに触れる時間をちゃんと確保しようと思心に決める。
自分を生きることが、楽に息をすることに通じるのだろうか。だとしたら、性別に関係ないんじゃないかなと思う。